

学校給食の残食を減らす取り組みが必要では



公明党
津山市議団
岡安謙典

給食

問 学校給食の牛乳の残食が多い。代替品など残食を減らす取り組みが必要ではないか。

答 牛乳はカルシウムの供給源として優れた食品であり代替品を考えるにしても栄養バランスに課題がある。残食を減らす取り組みを進めるとともに代替品等の導入については、情報収集に努め、研究してみたい。

問 以前より提案していた防災FMラジオを利用して行政情報を流すこととの検討状況は。



情報伝達

答 市内全域の行政情報の格差の是正、情報伝達手段の多重化など行政効果が期待でき、防災ラジオの普及にも繋がる。現在、エフエムつやまと放送内容・経費等について研究、協議を進めている。

「受動喫煙対策」は、待ったなし



日本共産党
津山市議団
美見みち子

受動喫煙対策

問 日本では年間約1万5千人が、受動喫煙が原因で死亡している。男性が4520人に對し、女性は1万430人にものぼる。津山市の受動喫煙等の対策は。

答 妊婦や新生児のいる方への助言、指導や世界禁煙デー等に駅前や街頭で市民への啓発活動、市広報紙を通じて岡山県の禁煙相談窓口を紹介している。

子ども医療費

問 先日、市長に6千人近い署名を持ち、中学卒業まで子ども医療費の完全無料化の声が届けられたが、来年度からの実施は。

答 改めて非常に重要な子育て支援策と認識している。子どもの貧困対策、他地域との均衡性からの検討も必要であり、政策決定の責任者として熟慮し、判断する。



その他の質問項目

◆津山圏域定住自立圏の形成

定住自立圏形成での農業部門は



緑風会
西野修平

定住自立圏

問 定住自立圏形成で津山圏域内のそれぞれ特徴ある農産物の情報交換を行い、互いに伸びなければならぬのでは。

答 農産物の生産品目については各自治体の特徴を持って推進している。生産者間では、JAつやまの生産者部会を中心に情報交換を行い、高品質化や増産に取り組んでいる。

また、行政間では美作広域農業普及指導センターが事務局を務める「津山農業普及指



J A つやま ぶどう部会の様子

導協議会」を中心に、担い手の確保や育成新技術の普及、農作物の生産状況などの情報交換をしている。

今後、さらに関係機関や圏域自治体、生産者が一体となり指導者や担い手の掘り起しを行いながら圏域内でのさらなる可能性を探る必要がある。